

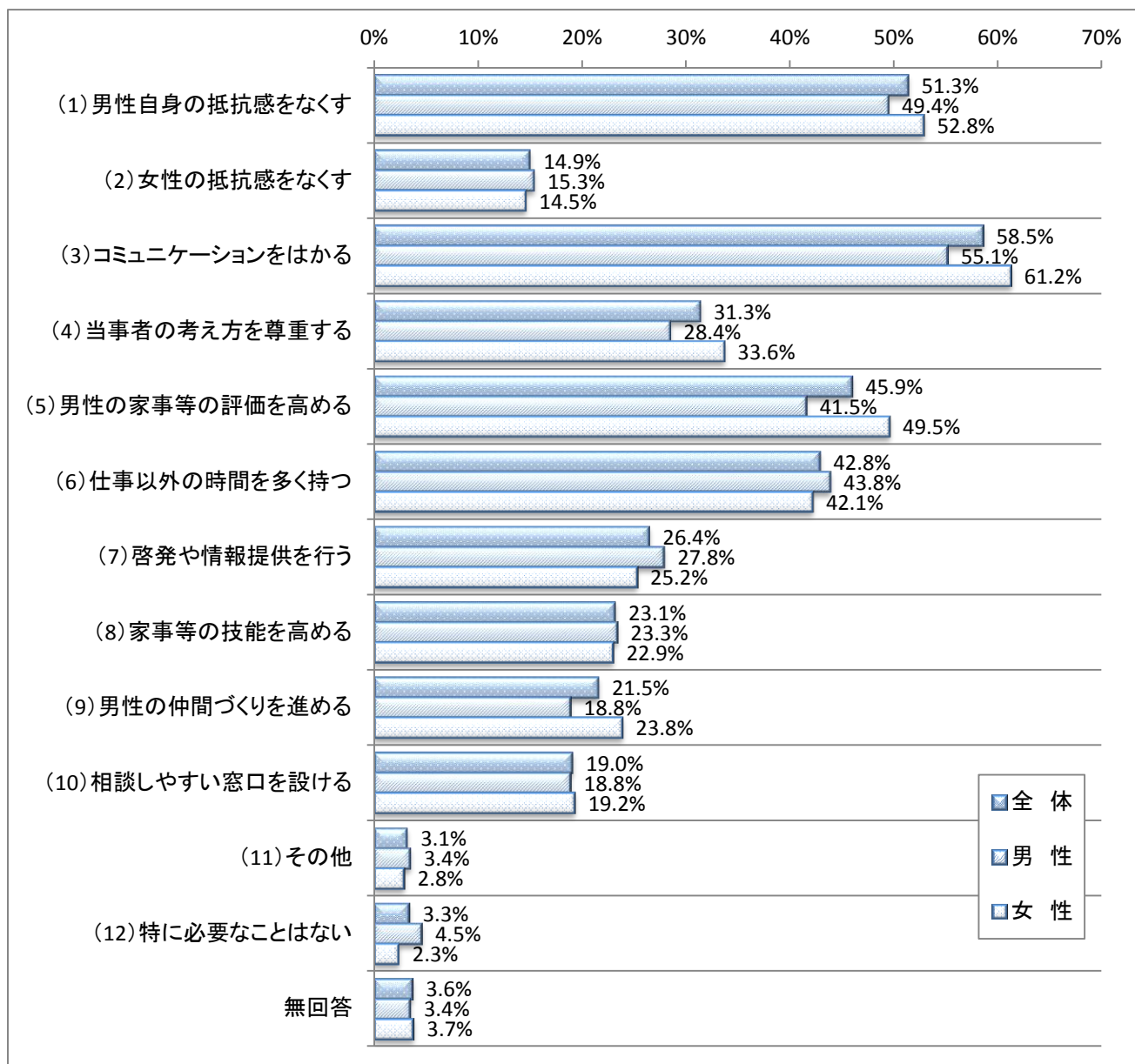
## 《分析》

- ◆全体として、『被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす』（59.7%）が最も高い割合となっている。
- ◆性別で、男女ともに同じ順番で割合が高くなっており、『被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす』、『家庭で親や家族が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う』、『命の尊さや思いやりについての教育、学習機会を充実する』、『学校・大学で児童・生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う』がそれぞれ、女性では57.9%、52.8%、52.3%、44.9%、男性では61.9%、50.6%、46.6%、42.0%となっている。
- ◆性別で、ほぼ同じような割合の項目が多い中、『加害者への罰則を強化する』が、女性は22.0%、男性は36.9%となっている。

## Ⅶ 今後の取り組みについて

【問20】 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は5つまで）

項 目		全 体	男 性	女 性
1	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	51.3%	49.4%	52.8%
2	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	14.9%	15.3%	14.5%
3	夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる	58.5%	55.1%	61.2%
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重する	31.3%	28.4%	33.6%
5	社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高める	45.9%	41.5%	49.5%
6	労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	42.8%	43.8%	42.1%
7	男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	26.4%	27.8%	25.2%
8	研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める	23.1%	23.3%	22.9%
9	子育てや介護、地域活動を行うための、男性の仲間(ネットワーク)づくりを進める	21.5%	18.8%	23.8%
10	仕事との両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける	19.0%	18.8%	19.2%
11	その他	3.1%	3.4%	2.8%
12	特に必要なことはない	3.3%	4.5%	2.3%
13	無回答	3.6%	3.4%	3.7%

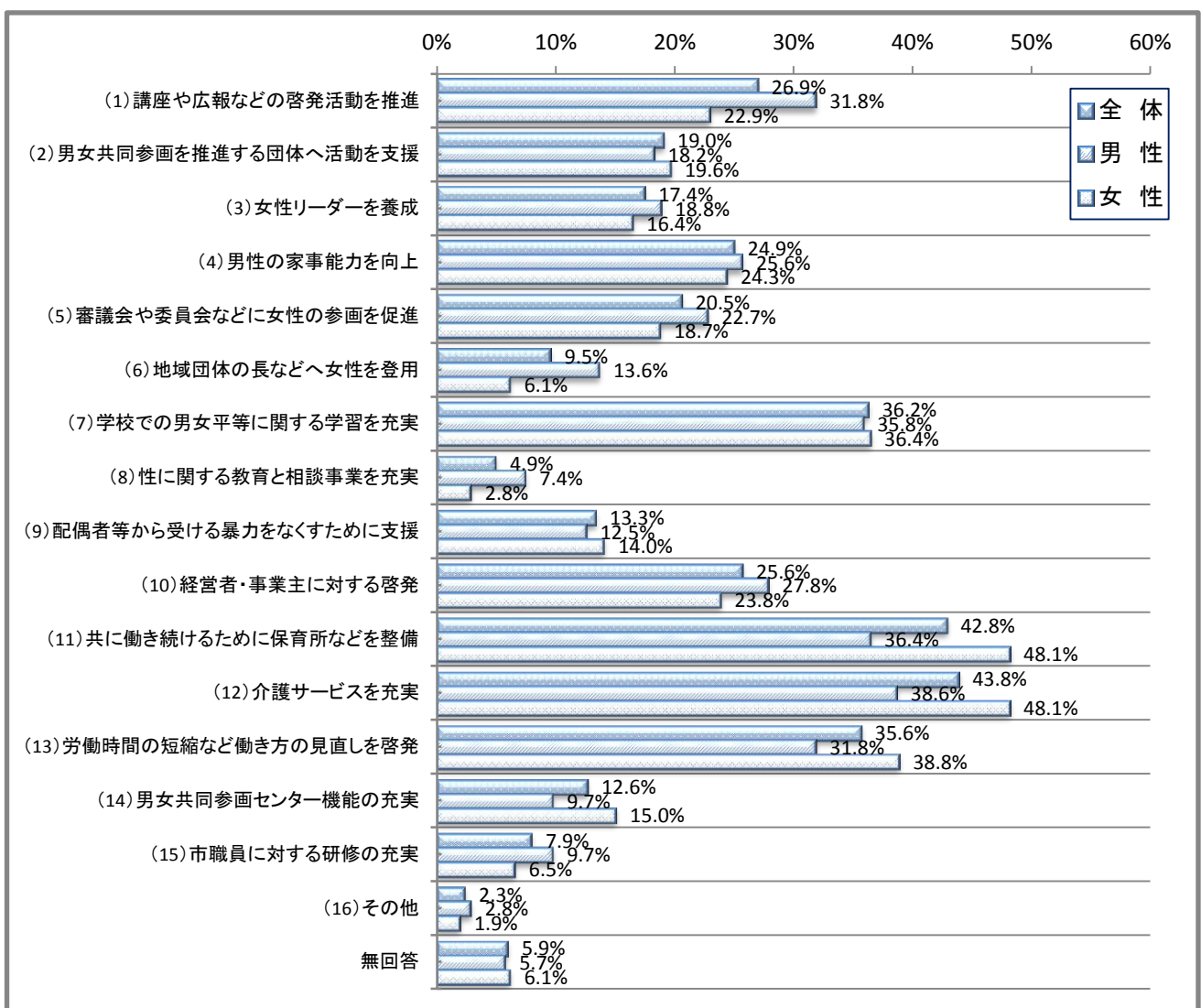


### 《分析》

- ◆全体として、『夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる』（58.5%）が最も高い割合となっている。
- ◆女性では、『夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる』（61.2%）、『男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす』（52.8%）、『社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高める』（49.5%）、『労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする』（42.1%）の順で割合が高くなっており、男性では、『夫婦や家族間での会話など、コミュニケーションをよくはかる』（55.1%）、『男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす』（49.4%）、『労働時間の短縮や休暇を取得することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする』（43.8%）、『社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高める』（41.5%）の順で高くなっている。

【問21】男女共同参画社会を実現するために、境港市はどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(〇は5つまで)

項目	全体	男性	女性
1 講座や広報などの啓発活動を推進する	26.9%	31.8%	22.9%
2 男女共同参画を推進する団体へ活動を支援する	19.0%	18.2%	19.6%
3 女性リーダーを養成する	17.4%	18.8%	16.4%
4 男性の家事能力を向上させる	24.9%	25.6%	24.3%
5 審議会や委員会などに女性の参画を促進させる	20.5%	22.7%	18.7%
6 地域団体の長などへ女性を登用する	9.5%	13.6%	6.1%
7 学校での男女平等に関する学習を充実する	36.2%	35.8%	36.4%
8 性に関する教育と相談事業を充実する	4.9%	7.4%	2.8%
9 配偶者や恋人等から受ける暴力をなくすために支援する	13.3%	12.5%	14.0%
10 経営者・事業主に対する男女平等について啓発する	25.6%	27.8%	23.8%
11 男女が共に働き続けるために保育所などを整備する	42.8%	36.4%	48.1%
12 介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する	43.8%	38.6%	48.1%
13 労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しを啓発する	35.6%	31.8%	38.8%
14 男女共同参画センター機能の充実を図る	12.6%	9.7%	15.0%
15 市職員に対する男女共同参画に係る研修の充実	7.9%	9.7%	6.5%
16 その他	2.3%	2.8%	1.9%
17 無回答	5.9%	5.7%	6.1%



## 《分析》

- ◆全体としては、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する』（43.8%）の割合が最も高くなっている。
- ◆性別で、女性は、同率（48.1%）で『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する』と『男女が共に働き続けるために保育所などを整備する』、『労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しを啓発する』（38.8%）、『学校での男女平等に関する学習を充実する』（36.4%）の順に割合が高くなっており、男性では、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスを充実する』（38.6%）、『男女が共に働き続けるために保育所などを整備する』（36.4%）、『学校での男女平等に関する学習を充実する』（35.8%）、同率（31.8%）で『講座や広報などの啓発活動を推進する』と『労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しを啓発する』（31.8%）の順に高くなっている。